

別記様式第15号-1(第29第4項関係)(特別交付型交付金)

令和5年度 消費・安全対策交付金(食料安全保障確立対策推進交付金) 都道府県等成果及び評価報告書(令和6年8月作成)

都道府県等名: 広島県

目的	目標	目標値及び実績			事業実施主体ごとの達成度			交付金相当額 (円)	備考
		目標値	実績	達成度	事業実施主体	目標	達成度		
Ⅱ 伝染性疾病 ・病害虫の 発生予防・ まん延防止	家畜衛生の推進	豚熱及びアフリカ豚熱の まん延防止	豚熱及びアフリカ豚熱の まん延防止	達成	広島県	豚熱及びアフリカ豚熱の まん延防止	達成	2,079,785	
総 計・総合達成度				総合達成度 達成 総合評価 適正				2,079,785	

国による評価の概要

総合達成度は「達成」であり、総合評価「適正」は妥当と判断する。なお、事業は適切に実施されたと評価する。

別記様式第14号-4(第29第1項関係)

目標 家畜衛生の推進(特別交付型)

事業実施期間 令和5年度 都道府県等名 広島県

事業の実施方法

【事業内容】
国内における豚熱(CSF)及び近隣諸国におけるアフリカ豚熱(ASF)の発生が継続して確認されており、県内の養豚施設への当該疾病の侵入防止対策が必要であることから、次の取組を行った。

- (2)家畜の伝染性疾病の発生予防
国内線靴底消毒マットの設置
- (5)野生動物の対策強化
野生動物の清浄性確認検査

【目標値の考え方】
国内における豚熱(CSF)及び近隣諸国におけるアフリカ豚熱(ASF)の発生が継続して確認されており、当該疾病の県内養豚施設への侵入防止対策が必要である。

- 【目標値】
- CSF及びASFのまん延防止
 - ・現状 県内養豚施設におけるCSF及びASFの発生件数(令和4年度) 0件
 - ・事業実施後 県内養豚施設におけるCSF及びASFの発生件数(令和5年度) 0件

目標値

項目	現状	目標値	実績	達成度	評価
家畜の伝染性疾病のまん延防止	豚熱及びアフリカ豚熱のまん延防止	豚熱及びアフリカ豚熱のまん延防止	豚熱及びアフリカ豚熱のまん延防止	達成	適正

事業内容及び実績額

事業内容	規格・規模等	所要額実績(円)	左の交付金相当額(円)	交付率(%)
(2)家畜の伝染性疾病の発生予防	国内線靴底消毒マットの設置(使用料及び賃借料)	453,024	214,000	47
(5)野生動物の対策強化	野生動物の清浄性確認検査 (検査促進費)	1,800,000	1,800,000	100
	(需用費)	131,570	65,785	50
(計)		2,384,594	2,079,785	

事業の成果

【実施状況】

(2) 家畜の伝染性疾病の発生予防

広島空港国内線出口に靴底消毒マットを設置することで、海外から他県の空港を経由して本県へ入場する旅客を介したASFの県内への侵入を防止することができた。

設置箇所：2箇所

(5) 野生動物の対策強化

リスクが高い地域における野生動物対策として、捕獲いのししの豚熱等検査体制を構築し、監視体制を強化することができた。

捕獲いのししの豚熱等検査頭数 300頭 11頭陽性、289頭陰性を確認

検査促進費（6,000円×300頭分）

材料採取及び送付委託（300頭分）委託先：一般財団法人広島県環境保健協会

【成果】

CSF及びASFのまん延防止

- ・現状 県内養豚施設におけるCSF及びASFの発生件数（令和4年度） 0件
- ・事業実施後 県内養豚施設におけるCSF及びASFの発生件数（令和5年度） 0件

都道府県等による評価の概要

空港における靴底消毒を実施することで、国内外からの人流を介した県内へのアフリカ豚熱の侵入を防止し、また、豚熱の感染地域の拡大や養豚施設へのまん延を防止する効果があった。また、野生動物の監視体制の強化により、県内の野生いのししにおける豚熱の浸潤状況及びアフリカ豚熱の清浄性を迅速かつ適切に把握し、養豚施設における発生予防対策の体制づくりや、野生いのししのサーベイランス検査の促進に寄与することができた。

専門家((一社)広島県畜産協会 大竹昭仁主管)における評価の概要 R6.7.11 広島県庁

・豚熱及びアフリカ豚熱の感染防止対策については、県内全域で野生いのししでの豚熱感染が確認されているにもかかわらず、県内養豚農家への養豚農家への豚熱及びアフリカ豚熱の侵入は防止できている。引き続き、交付金事業を活用して、豚熱及びアフリカ豚熱の発生防止に努めていただきたい。

・広島空港における家畜伝染性疾病の発生予防対策も適切に実施されており、今後とも動物検疫所神戸支所広島空港出張所と連携して対策を継続していただきたい。

・野生いのししの清浄性確認検査についても、県内全域で実施されており、監視体制が強化されている。引き続き、清浄性確認検査により、野生動物における豚熱ウイルスの拡大を早期に把握し、その結果を迅速に公表してもらいたい。

第三者の主なコメント

広島県農業関係施策検討会議
(第三者会議)(委員については別紙参照)

事業を適切に実施している。

国による評価の概要

管内でCSF・ASFの発生リスクが高まる中、空海港における水際対策や地元の猟友会と連携した野生いのししサーベイランス検査体制づくりの強化にも取り組み、目標値は達成されており、特定家畜伝染病に係る事業は適切に実施されたと評価する。

今後も、飼養衛生管理基準に基づく継続的な衛生指導の実施により、県内全体の衛生レベルの底上げや維持に取り組まれることを期待する。